

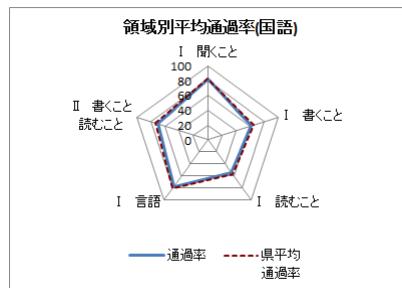
2014年度(平成26年度)授業改善シート

[国語]

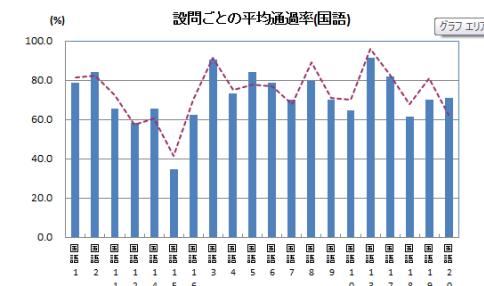
校番(25) 福山市立一ツ橋中学校

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校71.7%, 県73.7%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



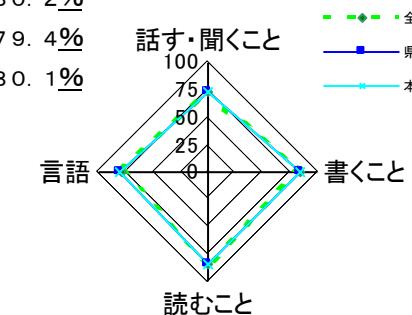
全国学力・学習状況調査 本年度正答率

A問題

本校 80.2%

全国 79.4%

県 80.1%

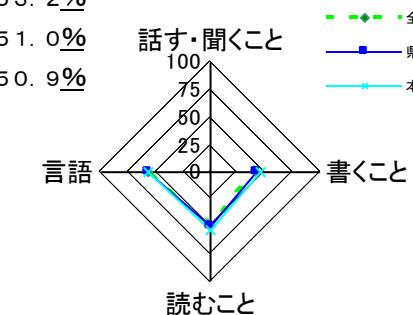


B問題

本校 53.2%

全国 51.0%

県 50.9%



調査結果のうち顕著な課題 ◎「基礎・基本」△全国学力

- ◎読むことの領域 四の3では、説明文の要旨の把握の問題で、キーワードを抜き出すことができていない生徒が57.0%いる。(通過率34.4%)
- △B三 落語の演じ方を選択し、なぜそのように演じるのかを本文を根拠に殿さまの気持ちを想像して書くことができない。(正答率38.8%) また、5.9%の生徒が無解答であり、書くことへの抵抗や苦手意識がある生徒が多い。

指導上の課題

- ◎読むことにおいて、段落相互の関係の把握は、65.6%の正答率であるので、文章全体を意識し、部分と全体を変えずにキーワードを見付けさせる。
- △表現の工夫や効果などについて考えた事を、根拠を明確にして書くことができない。

生徒の課題・指導上の課題改善のための日常的な取組み ～授業において～

- ◎説明文を読む際に、本文の中のキーワードを探し、アンダーラインを引かせる等の指導を行い、要旨の把握をしやすくする。
- △形式段落や小段落など要旨をまとめる活動を増やす。
- △物語の登場人物の心情を想像して、作品がどのように続していくかを書かせる活動を取り入れる。そのためには、登場人物の気持ちに着目させたり、会話文の感情部分を想像させたりして読むことができるよう指導する。

実施スケジュール	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	PLAN	DO			CHECK		ACTION			
	単元指導計画作成	単元指導計画実施 (単元で付けたい 力の明確化) 中間テスト 検証問題		期末テスト 検証問題	福山市調査問題		成果や課題の分析 及び改善			

検証

○時期： 1月

○方法：福山市調査問題

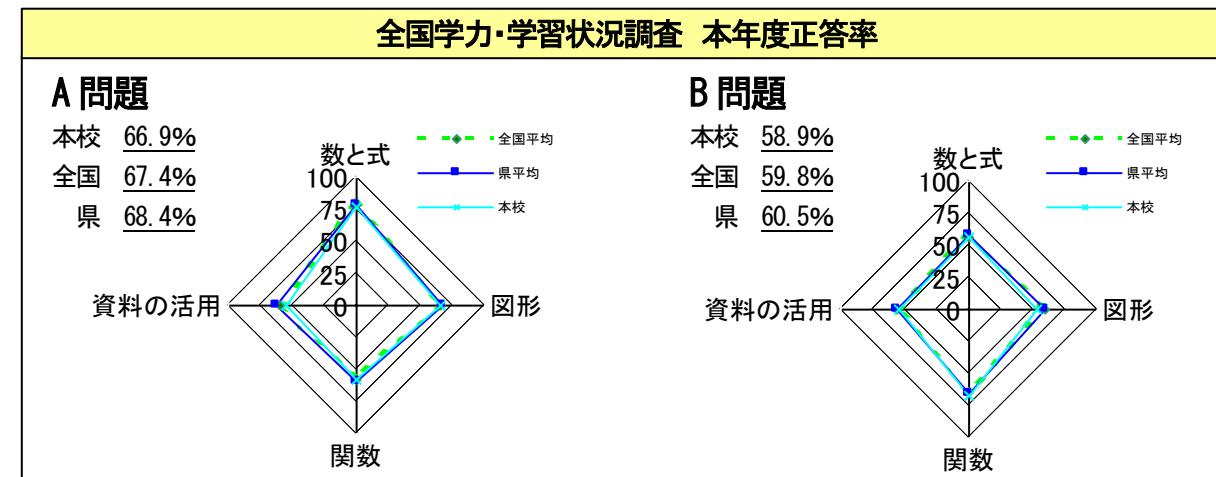
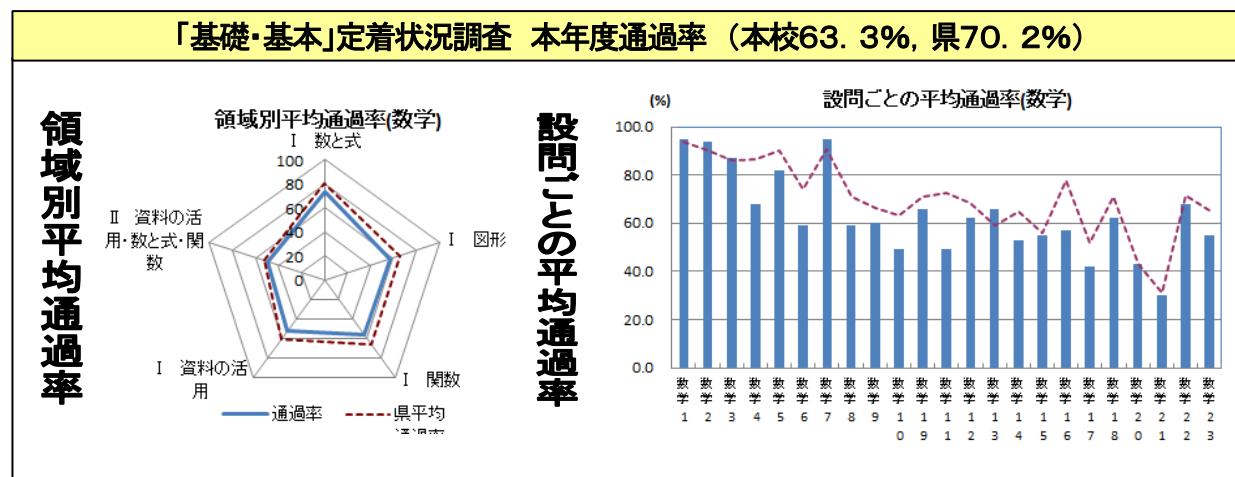
○目標：要旨の把握 50%

○結果：

2014年度(平成26年度)授業改善シート

[数学]

校番(25) 福山市立一ツ橋中学校



調査結果のうち顕著な課題 ◎「基礎・基本」△全国学力	指導上の課題
<p>◎ [6] (2) の設問において、関数の意味を正しく理解することができていない。「1日の最高気温 x °C のとき最低気温 y °C」、「年齢が x 歳の人の身長 y cm」の関係が y が x の関数であると捉えている生徒がともに 19.3%いた。 (通過率 57.0%)</p> <p>△ [8] 証明の方針を立てる際に着目すべき图形を考えることができないので、10.5%の生徒が無回答であった。 (通過率 68.6%)</p>	<p>◎ 関数の意味を理解させる指導が不十分であった。また、事象に両数量の関係を関数の視点から考察する時間を十分に設けていなかった。</p> <p>△ 証明の構想や方針を立てる指導が不十分であった。また、証明の振り返りをする指導が不十分であった。</p>

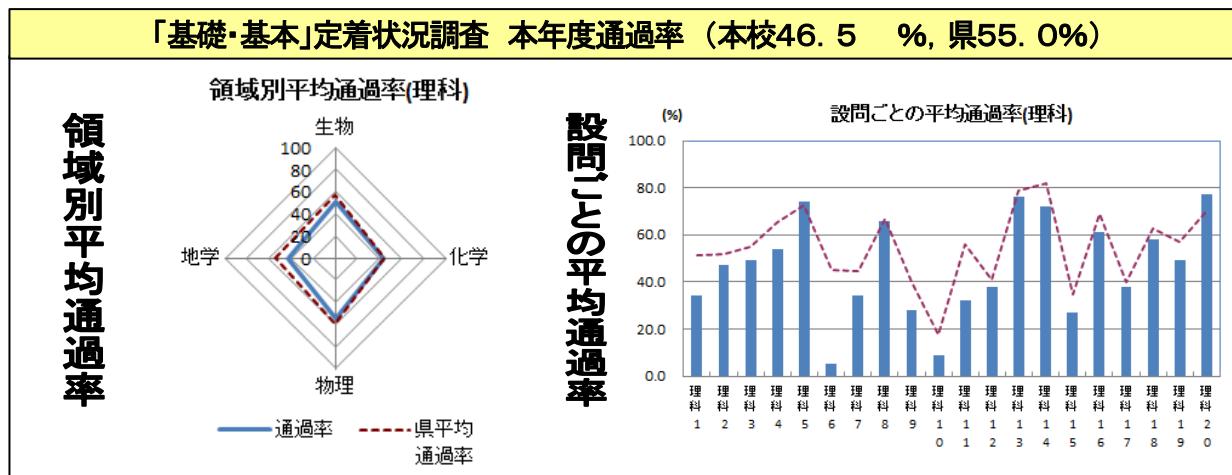
生徒の課題・指導上の課題改善のための日常的な取組み ～授業において～
<p>◎ 様々な事象の考察を通して関数の意味を理解できるようにするために、日常的な事象の中にある2つの数量の変化や対応を調べ見出す活動を取り入れる。また「○○○は△△△の関数である」という形で表現する活動も取り入れる。</p>
<p>△ 証明の構想や方針の必要性と意味を理解させるために、証明の方針を立てて証明し、その過程を振り返る活動を取り入れる。また、証明の方針を立てさせる際に、仮定と結論を色や印を用いて図に記入する指導を行う。</p>

実施スケジュール	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	PLAN	DO			CHECK		ACTION			
	・改善指導計画の作成	・学習過程の工夫 ・指導形態の工夫			・検証の実施		・成果や課題の分析及び改善			

検証	○時期：3学期	○方法：福山市調査問題（全学年）	○目標：75%（全学年）	○結果：
----	---------	------------------	--------------	------

2014年度(平成26年度)授業改善シート [理科]

校番(25) 福山市立 一ツ橋中学校



調査結果のうち顕著な課題 ◎「基礎・基本」	指導上の課題
◎①基礎的・基本的な知識・技能を活用して、仮説・実験方法を計画することができていない。溶解度、飽和水溶液という語句を使用しているが、溶解度は温度によって変化しないと誤解している生徒が多い。(通過率 8.6%)	◎①水溶液にかかわる事象の理由を説明する機会を十分に設けていなかった。
◎②地震計の観測結果を基に分析・解釈し、「小さなゆれが続く時間(初期微動継続時間)が長いほど震源から遠い」という結論を見出すことができていない。(通過率 26.9%)	◎②観察・実験結果から考察する機会を十分に設けていなかった。

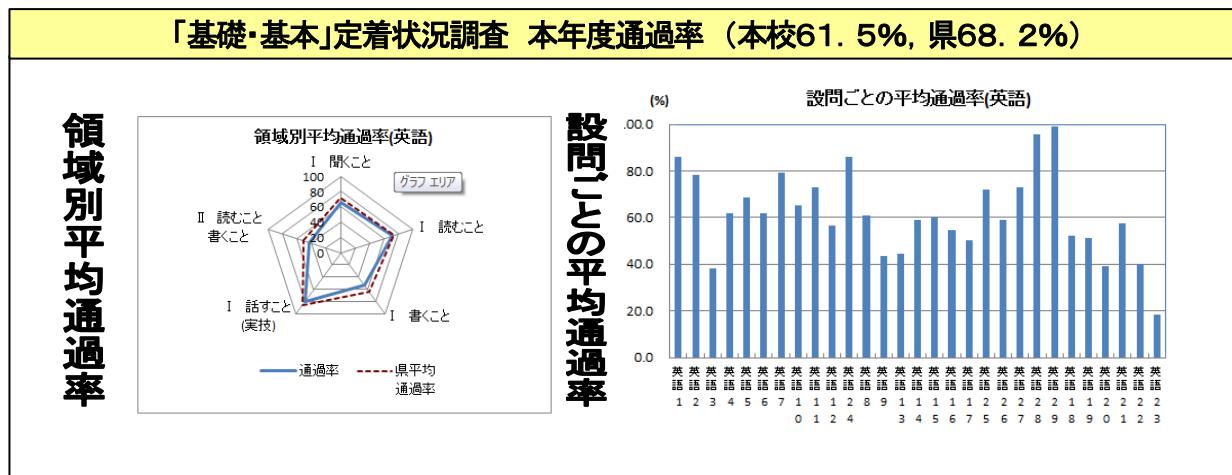
生徒の課題・指導上の課題改善のための日常的な取組み ～授業において～
◎①飽和水溶液、溶解度、再結晶に関する基礎的・基本的な知識・技能が身に付けさせないといけないことから、実験を行う前に、実験の目的・仮説をもとに何を調べるための実験なのかを確認した上で実験にとりくませる。また、仮説を考える際、結果を基に考察を行う際には、科学的な語句を用いて表現させる。水溶液にかかわる事象に関しては、科学的な語句を抑える際に、溶けきることができる質量を●で表したモデルを用いて説明を行う。
◎②知識として知っていることと、グラフを基に検証されることとが区別できていないことから、観察・実験を行う際には、何を検証するための観察・実験かを、目的と関連付けて考えさせ、考察では、観察・実験結果からいえることと、そうでないことを区別できるよう例を挙げながら説明を行う。

実施スケジュール	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	PLAN	DO	CHECK	ACTION						
	課題の検証	実験・観察の改善 (仮説の設定、結果を踏まえての考察)		2学期期末試験	CHECK を受けて課題の検証・授業の改善					

検証	○時期：12月	○方法：2学期期末試験(2学年)	○目標：通過率 30%	○結果：
----	---------	------------------	-------------	------

2014年度(平成26年度)授業改善シート [英語]

校番(25) 福山市立 一ツ橋中学校



調査結果のうち顕著な課題 ◎「基礎・基本」	指導上の課題
<ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」の領域で、まとまった英文を読み、条件に合う4文を書く問題に課題がある。英文を書いたとき、文法のミスに合わせて、ユキの好きな教科以外の教科の情報を書いている生徒が28.0%。また、無解答の生徒29.3%。(通過率18.5%) 「聞くこと」の領域で、会話を聴き、内容についての質問に答える問題に課題がある。質問に対してYesで答える理解はできているが、質問の主語が複数であることが理解できていない生徒が53.3%。(通過率38.0%) 	<ul style="list-style-type: none"> まとまった英文を読み、情報を正しく読み取り、条件やテーマに合う正確な英文を書くことを定着させていない。 ポイントを押された聞き取りが不十分である。

生徒の課題・指導上の課題改善のための日常的な取組み ～授業において～
文構造を正確に理解させる。be動詞と一般動詞の区別をはっきりさせるために主語・動詞に決まったマークを付けさせる、学習した単語・基本文を「話す」→「書く」まで達成させるなど、英文への抵抗をなくしていく。
まとまりのある英文を読み、要点を把握する活動を行う。 (日本語による空欄補充→True or False→Q and A→Summaryなど)
教員からの一方的なClassroom Englishだけではなく、質問への応答など生徒からの発話の機会を増やす。 聞き取った内容について、メモをとらせる。

実施スケジュール	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	PLAN	DO			CHECK		ACTION			
	文構造理解 教科書読解 英作文 リスニングメモ		インタビューテスト		福山市調査問題		課題改善			

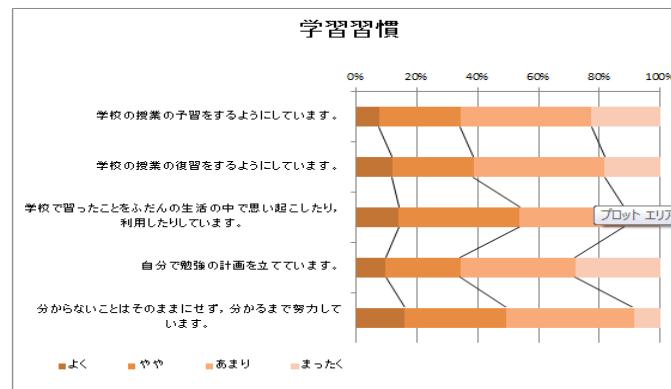
検証	○時期： 2月（2学年）	○方法： 福山市調査問題	○目標：通過率70% (通過率30%未満：10%未満) (通過率60%以上：65%以上)	○結果：
----	--------------	--------------	---	------

2014年度(平成26年度)授業改善シート

[生徒質問紙調査]

校番(25)福山市立一ツ橋中学校

(1) 生活・学習

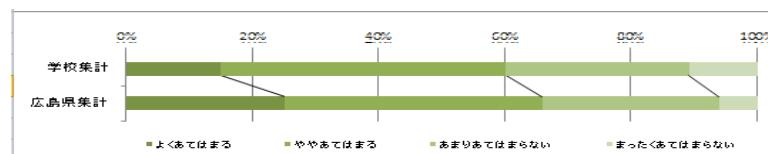


生徒の回答についての課題(現状値) ◎「基礎・基本」△全国学力		課題改善のための日常的な取組み
◎自分で勉強の計画を立てています。34.4%		◎家庭学習が毎日実施できるように、国語、英語科で毎日宿題を出していく。家庭学習時間アップキャンペーンなど委員会の活動も取り入れる。また、全くしていない生徒の改善が見られない場合「朝学習」(朝学校にきて課題をする)をして100%を目指す。
普段(月曜日～金曜日)、家では1日何時間ぐらい勉強していますか。(学習塾や家庭教師との学習はのぞきます)		勉強していない27.4%
△家で、自分で計画を立て勉強をしていますか。55.3%		△家庭学習の内容は、予習を中心とした漢字の書き取り、英単語、英文などを指導する。数学に関しては、自主勉ノートに復習プリントを付けて、個人の理解度に応じて学習できるようにする。
家で、学校の授業の予習をしていますか。36.5%		
家で、授業の復習をしていますか。61.2%		

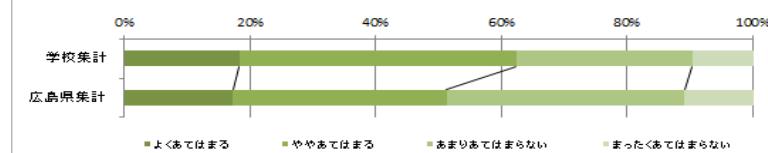
検証	○時期: 12月	○方法: 生徒アンケート
	○目標: 家庭学習100%	○結果:

(2) 教科

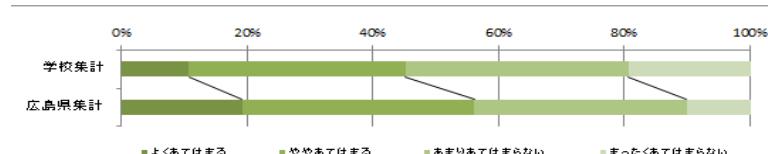
国語の授業では、伝えたいことの中心をはっきりさせ、組み立てを考えて文章を書いています。



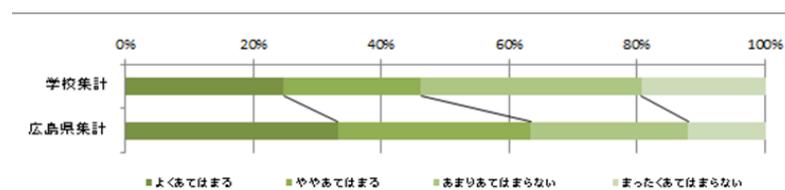
数学の授業では、解き方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。



理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。



英語の授業では、分からぬ單語や熟語や自分が使いたい単語や熟語は、辞書を使って調べています。



生徒の回答についての課題(現状値) ◎「基礎・基本」△全国学力		課題改善のための日常的な取組み
◎国語の授業では、伝えたいことの中心がうまく伝わるようになります。話の組み立てを考えて、話したり、話の中心を考えながら聞いたりしています。(当てはまらない38.9%)		◎体験活動・行事等の感想を、自分がスピーチすることを想定して書くことを意識付ける。
△国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。(当てはまる11.8%)		△単元指導計画の作成時に、「まとめ」は、生徒にどのような力が付いたのか、生徒の言葉を想像して作成する。
◎「数学の授業では、解き方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。」では肯定的な回答が36.6%であった。		◎「数学の授業では、自分の解き方や考え方の説明をノートに書いています。」では、62.4%の肯定的な回答であった。そこで、ペア、グループ活動を意識的に取り入れ、自分の考えを説明する活動を行う。
△「今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。最後まで解答を書こうと努力しましたか。」では、全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力したと回答した生徒は58.8%であった。		△B問題では、各設問での無回答も多かった。そのため、自分の考えを数学用語を用いて表現させる活動を、意識的に取り入れる。
◎「理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。」では肯定的な回答が45.2%であった。		◎実験・観察を行うときは、自分の考えが持てるよう、仮説を立ててそれに必要な情報を提示し、考察では自分の考えを書く時間をとるとともに班の中で発表させる機会を設ける。
◎「英語の授業では、分からぬ単語や熟語や自分が使いたい単語や熟語は、辞書を使って調べています。」では、肯定的な評価が46.2%であった。		◎テーマ別英作文を書く時、辞書を活用する。また、新出語(句)や重要語(句)を学習する時は、他の重要語(句)や派生語を調べる。
検証	○時期: 2月	○方法: 福山市調査問題
	○目標: 肯定的評価が70%以上	○結果: